

嬉しい話 2 題 !!

～もっと拡がれ北辰の和～

62 期 千賀 茂世

その 1

北辰会の総会・懇親会の後、数日して筆書き達筆の封書が届きました。

私の知る方で、筆書きの書簡を送ってくださる方はどなただろう？

あの高校の書道の先生？それとも箏曲をしておられる先生？

と考えながら差出人を見ましたら…

29期の、あの素晴らしい書家の竹本大鶴（治男）さんでした！

総会終了後、北野高校定時制の記念室で、たまたま29期の先輩方が、北海道から参加されていた並河さんご夫妻と共に歓談しておられました。

私の北野高校定時制時代、秋季定時制通信制文化祭に学校代表で弁論大会に参加した時に頂いた、大阪府教育委員会賞受賞の表彰状が掛けてあるのを指さし、今から思えばお恥ずかしいのですが「これ、私が学生の時に頂いた賞状なんです。」とお話ししてしまいました。

その時、私を賞状の下に立たせ写真を撮ってくださいました。お手紙には、「ほたるに雪に」の私の文章を読み、頑張っている事を褒めてくださいました。そしてあの時撮った、同期の皆さんの集合写真と、少し上気した私の笑顔の写真を同封してくださり「青春の苦勞を人生のバネにした貴女の笑顔はとても素晴らしいです。」とも言ってくださいました。

私は、感動してしまい涙が出ました。

こんなにも後輩のことを、人として丁寧に扱ってくださる先輩。他の先輩方々も、尊敬すべき素晴らしい人たちです。

自分が北辰会の一員として、素敵な先輩方と共にあることが、本当に幸せだと感じました。

来る7月4日の北辰会総会・懇親会の慰労会と「北辰V」～ほたるに雪に～刊行祝賀会で、また先輩たちに会えることとても楽しみです。



2018年総会受付での
千賀さん

その2

今朝、輪島の限界集落のドキュメンタリー番組を見ていましたら、頑張って農業を拡大継続している代表者の中に宇羅恒雄さんが登場しました。

番組の後半に入ってから、輪島の粟蔵地区で斬新的に活動している人がいる、他の法人とも力を合わせて行かねば成り立たないと向かった先が、宇羅さんのところでした。未来に向けて先行投資型の農業、多くの高齢化した地域の農家の休耕田を、大きなトラクターを使って農作業を効率化する農業法人粟蔵水稻。田植えの方法も、種もみをそのまま水田に撒いていく直播の最新機械（300万したって）を購入し、高齢化していく農家に代わり田んぼを守り、米を高齢者が食べる分と、売り現金化して収入とする手助けをしている。

代表の宇羅さんの、穏やかな微笑と気さくな人柄、そして理知的！ここで、あれ？先輩じゃない？

宇羅さんという名前が珍しいのと、確か輪島の方に住まわれているはず…
と思い、名簿を調べました。

おお！まさしく宇羅先輩！

先輩たち、それぞれの分野で活躍しておられることを知ること、自分も頑張ろう！と、勇気やエネルギーが貰えました。

ああ、嬉しい！！



2018年総会での宇羅さん

2018年6月22日 記

事務局

宇羅様へ問い合わせしたところ放映は下記の2本があるそうです。最近再放送されたようです。

① 石川テレビ制作「過疎の向こうへ」（2017年9月30日放送）（FNSドキュメンタリー大賞を受賞）

- ・石川・輪島市、山間部は2人に1人が高齢者、いつからか限界集落という呼び名もついた。
そんな集落だからこそ人間らしいらしがある。若者たちを故郷にひきつけたい、何百年も続く祭りを残していきたい。過疎の向こう側を探った番組。

② TBS制作「ふるさとの夢」（2018年1月31日放送）

舞台は「石川県奥能登」

- ・奥能登にある7つの農家がひとつとなり会社を設立。会社を設立した想いとは？
- ・2007年に起きた能登半島地震。余震を懸念して遠のいた観光客を再び呼び戻すために行ったことは？

（番組宣伝より）